

令和4年度 学校評価 アンケート結果(児童・保護者・教職員)
 アンケート実施 令和4年11月
 調査人数 児童2～6年生(64/68人) 保護者(/ 人) 教職員11人

A:あてはまる いつもそうだ よくわかる
 B:だいたいあてはまる そうだ わかる
 C:あまりあてはまらない どちらかというと～
 D:あてはまらない いつもそうではない よくわからない

【学校運営 保護者・地域との連携による児童の育成】

(1)開かれた学校づくりへの情報発信 教育活動の可視化を図るために積極的な情報発信に努めます。

① 達成評価A+Bが90以上はA、70以上はB、上記以外はC		A	B	C	D	評価	達成評価
学校だよりや HP 等を通して学校の様子はよくわかりますか	保護者	37.5	61.1	1.4	0	A	A
家庭や地域への情報発信はよくできていると思いますか	教職員	58.3	41.7	0	0	A	

(2)学校の居場所づくりと生活習の確立

② 達成評価A+Bが90以上はA、70以上はB、上記以外はC		A	B	C	D	評価	達成評価
学校は楽しいですか	児童	30.3	56.1	10.6	3.0	B	B
毎日楽しく学校に通っていますか	保護者	48.6	44.4	5.6	0.0	A	

③ 達成評価A+Bが90以上はA、70以上はB、上記以外はC		A	B	C	D	評価	達成評価
気持ちのよい挨拶をしていますか	児童	50.8	40.0	9.2	0.0	A	A
家庭や地域で進んで気持ちのよい挨拶をしていますか	保護者	43.1	44.4	11.1	1.4	B	
進んで気持ちのよい挨拶をしていますか	教職員	9.1	81.8	9.1	0.0	A	

④1時間以内が60以上はA、2時間以内が60以上はB、上記以外はC		なし	30分以内	～1時間	～2時間	2時間以上	評価	達成評価
学校がある日に遊びでメディア(ゲーム、動画、ライン等)をする時間はどれくらいですか	2～6年	3.0	4.5	25.8	36.4	30.3	B	B
平日にお子さんは遊びでゲーム、動画、ライン等をどれくらい使っていますか	保護者	4.2	5.6	23.6	38.9	27.8	B	

⑤「ある」の割合90以上はA、70以上はB 上記以外はC		ある	なし	評価	達成評価
メディアをする時間について、家でのきまりがありますか	2～6年	64.6	35.4	C	B
メディアの接し方について、家でのきまりはありますか	保護者	86.1	13.9	B	

(3)竹田のいいところはどこですか(児童)

学 校	地 域
<ul style="list-style-type: none"> ・みんな仲良く、元気、明るい、笑顔 ・お友だちと先生が好き。 ・みんなが協力したり、あいさつしたりしているところ。 ・友達がやさしいから勉強で話に行きやすいです。 ・人との思いやりができる信頼関係や、気が弱くなく自分の意見をはっきり言えることが好きです。 ・優しい人がたくさんいる(助けてくれる人や、手伝ってくれる人など…)ところが好きです。 ・悪いことをしないこと。(万引きしない) ・全校生で協力したり、助け合いをしたりできるところ。 ・一回言ったことを次は必ずすること。 ・それぞれが、自分の力を出せて、輝けるところ。 ・運動場が広いところ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然がたくさんある。自分が見たことない虫もたくさんいて花もたくさんあるところが好き。 ・自然がゆたかで気分が良くなる。野菜がよく採れる。 ・近所の人からあいさつしてくれて、みんな元気な所。 ・お帰りって言ってくれる。地いきの人があいさつをしたら仕事を止めてあいさつをしてくれる。 ・おじいちゃんおばあちゃんがいて、とても親切で優しいところとかが、この竹田が好きな理由です。 ・だがしやがあること。 ・丹波大納言小豆と学校で出るパンのあいしょうががとてもよく、食べていて幸せです。 ・とてもいい人が住んでいて、とても幸せです。 ・あいさつをしたり、お礼を言えたり、そういうことを自然にできるところが竹田地域のいいところ。

【分析・考察等】

- ・HPについては、昨年度と比較し更新回数が1.5倍、閲覧数は1.8倍と大幅に増加した。今後も児童の活動の様子がよく分かる画像や学校の取組の紹介、児童の成長の様子を積極的に発信していく。また、より多くの地域の方々に学校に足を運んでいただき子どもたちの様子を参観いただけるように情宣活動に取り組んでいく。
- ・「学校は楽しい」については、友だちとの関係が良好で異学年での遊びも楽しいと感じている児童が多い。また、学習では友だちと学び合うことが楽しいと感じている児童が増えてきている。今後、苦手な教科への自信のなさや友だちとのトラブルがあった時などの教師の支援の仕方がより重要となってくる。児童の見取りを教師間で情報共有し、子どもに寄り添う支援に務める。
- ・「竹田のいいところ」については、友だち関係の良好さに加え、自分らしさを安心して出せることによさも感じている。また、地域の自然のよさや、登下校中の地域の方々との日々のふれあいによさを感じている子も多くなる。
- ・1時間以上のメディア使用時間が6月より21ポイントと増加している。特に1～2時間の使用が増えている。使用時間は児童と保護者の間に大きな差はないが「家庭でのきまり」について、児童と保護者間で認識の差があると感じている。学期ごとに保護者の方と協力し実施している「元気大作戦」で自分の生活を見つめなおす機会とし、改善が必要な項目は家庭との連携を強化していく。

【教育課程 学習指導 協働的な学びと個別最適な学びの充実と ICT の活用】

① 達成評価A+Bが90以上はA、70以上はB、上記以外はC		A	B	C	D	評価	達成評価
勉強はわかりますか	児童	37.9	57.6	3.0	0.0	A	A
家での学習に進んで取り組んでいますか	保護者	23.9	50.7	19.7	5.6	B	
ペアトークなど友達の意見を聞いたり、考えを広げたりと学び合いの授業づくりを意識して取り組んでいますか	教職員	54.5	36.4	9.1	0.0	A	

② 達成評価A+Bが90以上はA、70以上はB、上記以外はC		A	B	C	D	評価	達成評価
友だちと協力して何かをすることは楽しいですか。	児童	45.5	48.5	6.1	0.0	A	A
友達と協力して何かをする活動や時間を意識して設定していますか	教職員	63.6	36.4	0.0	0.0	A	

③ 達成評価A+Bが90以上はA、70以上はB、上記以外はC		A	B	C	D	評価	達成評価
新しい課題や学習に取り組むことは楽しみですか	児童	22.7	54.5	21.2	1.5	B	B
子どもたちは新しい課題や学習に取り組むことを楽しんでいますか	教職員	27.3	63.6	9.1	0.0	A	

【分析・考察等】

- ・「勉強はわかりますか」については、「よく分かる」の回答が9ポイント増加しており、記述欄に「みんなと一緒に考えるのが楽しい」との複数の意見があることから、友だち同士で学び合う学習の取組や高学年での児童が司会進行・板書を行う授業展開により、「わかった、できた」という意識が高まってきている結果であると考えられる。
- ・「新しい課題や学習に取り組むこと」については、児童はやるべきことと捉えて頑張っていると考えられる。教師は一生懸命に取り組んでいる姿を楽しんでいると捉えた。最初は乗り気ではなくても、やっているうちに楽しい、頑張ってやってよかったと感じてくれたらそれは次への意欲につながると考える。また、そうして乗り越えたことを評価するように心がけていく。

【人権教育】

(1) 自尊感情

① 達成評価児童ある 80 以上はA、60 以上はC、上記以外はC		ある	わからない	ない		評価	達成評価
自分にはよいところがあると思いますか	児童	31.8	48.5	19.7		C	B
達成評価A+Bが90以上はA、70以上はB、上記以外はC		A	B	C	D	評価	
お子さんのよい所をほめていますか	保護者	38.9	54.2	6.9	0.0	A	
子どもたちの伸びや認める言葉を意識してかけていますか	教職員	72.7	27.3	0.0	0.0	A	

(2) 人を大切にできる気持ち

②達成評価A+Bが90以上はA、70以上はB、上記以外はC		A	B	C	D	達成評価
ともだちのよいところを見つけて伝えていきますか	児童	33.3	62.1	4.5	0.0	A

③達成評価A+Bが90以上はA、70以上はB、上記以外はC		A	B	C	D	達成評価
友だちのことを進んで手伝ったり、助けたりしていますか。	児童	39.4	57.6	1.5	0.0	A

④達成評価A+Bが90以上はA、70以上はB、上記以外はC		A	B	C	D	評価	達成評価
「自分にされていやなことを人にしないいわない」を守れていますか	2~6年	42.9	49.2	6.3	0.0	A	A
友達を大切にできる気持ちが育っていますか	保護者	38.9	59.7	1.4	0.0	A	

【体力向上】 16 項目中10項目以上はA、8項目以上はB、上記以外はC

6 年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	シャトルラン	50m 走	立ち幅跳び	ボール投げ	達成評価
男子:春	23.57	19.71	30.29	48.71	66	8.93	181.43	25.71	A
男子:冬	24.14	20.29	37.86	47.14	76.14	8.21	182.14	22.57	
女子:春	20.6	18.1	40.2	43.5	40.3	9.38	168.6	18.3	
女子:冬	19.45	19.55	40.64	42.18	44.73	9.24	159.64	15.64	

【分析・考察等】

- ・「自分にはよいところがある」については、「ある」の回答が6月から14ポイント減少し、「わからない」の回答が増加する結果となった。家庭での「あまりほめていない」は減少傾向にあり、教職員も誉め言葉を意識して子どもたちに接しているが、反する結果となった。また、「よいところがない」と回答した児童も一定数いることから、学年等の枠を超えて、「ありがとう」をキーワードに子ども同士を含めみんなで頑張りを成長を認めていく取組を進める。家庭ではスキンシップや子どもの話を聴く時間を作ってもらえるよう学年通信等で働きかける。また、次回調査では「わからない」という回答項目をなくすなど調査方法も検討する。
- ・体力向上については、朝のトレーニングを継続的に取り組んだことが、体力テストの結果向上につながったと考える。調査を行った4年生では16項目中12項目、5年生は16項目中10項目、上記6年生は16項目中10項目で1学期の調査結果より向上していた。児童も意欲的に取り組んでおり、結果を知らせることで意欲の高揚を図っていく。